

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月7日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1273100295		
法人名	社会福祉法人 天祐会		
事業所名	グループホーム 富士見苑		
所在地	千葉県富津市篠部2310-3 (電話) 0439-80-4501		
評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	平成20年11月1日	評価確定日	平成20年11月17日

【情報提供票より】(平成20年9月15日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成14年9月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	12 人	常勤 8 人, 非常勤 4 人, 常勤換算 10 人	

### (2) 建物概要

建物構造	木造スレート葺き平屋 造り	
	1 階建ての	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷金	有( ) 円 無( )			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 300,000 円 無( )	有りの場合 償却の有無	有( ) 無( )	
食材料費	朝食	500 円	昼食	500 円
	夕食	500 円	おやつ	200 円
	または1日当たり			円

### (4) 利用者の概要( 月 日現在)

利用者人数	18 名	男性	7 名	女性	11 名
要介護1	2 名	要介護2	3 名		
要介護3	8 名	要介護4	5 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.8 歳	最低	65 歳	最高	95 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	田中ハートクリニック
---------	------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

海に近く緑も多い自然豊かな環境の中に、「グループホーム富士見苑」がある。広い駐車場を備え、木造平屋建てのグループホームは全面バリアフリーで、高い天井と天窓からの採光で明るく開放的な造りとなっている。広い敷地内には別棟のデイサービスセンターがあり、日々のレクリエーションや合同行事等で交流を図っている。海までは徒歩で行け、天気の良い日には海の向こうに富士山が望めて、絶好の散歩コースとなっている。職員は、入居者との心の繋がりを大切にしており、介護の知識と技術を提供するだけではなく、心のこもった温かいサービスの提供に努めている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価で指摘された改善点として、職員の異動等の配慮と同業者との交流について挙げた。職員の異動においては、季刊誌等を通じて入居者・家族への報告を行い、不安の軽減をすると共に、研修会等にて人材の育成に取り組み、適切な改善が図られている。また、同業者との交流においては、法人内の他施設と会議等で交流を持ち、情報交換等を行い、サービスの質の向上に努めている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、職員会議での検討内容をふまえて、管理者が作成している。職員は外部評価の意義を理解し、評価結果については職員全員が閲覧している。改善点のあった場合は速やかに検討し改善を図り、サービスの向上に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、市職員・地域区長・入居者・家族・職員を構成員として、6ヶ月に1回開催している。会議では広報誌や写真を交えて詳細な活動報告を行うと共に、外部評価の報告や意見交換等を行っている。また、会議を行事と一緒にしない、出席しやすい環境作りや施設理解の促進に工夫している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の面会時や運営推進会議にて、意見や要望等の確認を行っている。挙げた意見や要望については職員会議等で検討し、周知徹底を図り適切な対応に努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地元町内会に加入し、地域の奉仕活動に積極的に参加している。敬老会等の地域行事に参加すると共に、地域住民の施設内行事への招待も行われている。また、地元ボランティアの受入れや、併設のデイサービスへの参加等で地域との交流を深めている。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の基本理念を軸として、「安心・安全・穏やか」を主眼とした独自の理念を作り上げている。入居者が第二の人生の拠り所として、地域と共に日常生活を送れるように、心のこもったサービスの提供に努めている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所内に理念を掲示すると共に、朝礼や職員会議等にて理念の確認が行われている。職員は理念を意識しながら、介護の知識や技術を心を持って使うように心がけ、日々の支援に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元町内会に加入し、地域の奉仕活動に積極的に参加している。敬老会等の地域行事に参加すると共に、地域住民の施設内行事への招待も行われている。また、地元ボランティアの受入れや、併設のデイサービスへの参加等で地域との交流を深めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、職員会議での検討内容等をふまえて、管理者が作成している。職員は外部評価の意義を理解し、評価結果については職員全員が閲覧している。改善点のあった場合は速やかに検討し改善を図り、サービスの向上に取り組んでいる。		職員全員が自己評価の作成に関する事で、気付きを大切にしながら、更なるサービスの質の向上に繋げて頂く事を望みます。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、市職員・地域区長・入居者・家族・職員を構成員として、6ヶ月に1回開催している。会議では広報誌や写真を交えて詳細な活動報告を行うと共に、外部評価の報告や意見交換等を行っている。また、会議を行事と一緒にしない、出席しやすい環境作りや施設理解の促進に工夫している。		

【千葉県】グループホーム 富士見苑

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は介護保険運営協議会の会合に参加し、市町村と定期的に意見交換を行う機会を持っている。また、市の介護福祉課・生活保護課の職員と常に連絡を取り合い、情報交換や相談等を行い問題の早期解決を図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族の面会時や電話にて入居者の生活状況の報告を行っていると共に、広報誌と金銭管理報告、重要連絡等を毎月郵送している。また、生活状況に変化があった場合には、随時電話にて連絡を行っている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時や運営推進会議にて、意見や要望等の確認を行っている。挙げた意見や要望については職員会議等で検討し、周知徹底を図り適切な対応に努めている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動や入職については、広報誌にて家族へ報告を行っている。入職のあった場合には入居者へ紹介を行い、慣れた職員と一緒に業務を行う事で、できるだけ早く馴染みの関係が築けるように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月施設内研修会が行われていると共に、事例検討会や併設デイサービスの看護師による衛生講習会等が行われ、人材の育成に努めている。今後は外部研修にも積極的に参加して行きたいと考えている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の他施設と会議等で交流を持ち、情報交換等を行っている。また、地域とのネットワーク作りには積極的に参加すると共に、他施設の行事へ参加し交流を図っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>随時見学を実施していると共に、希望に応じて体験入居を実施し、施設の雰囲気を理解してもらってからの入居となっている。入居後は声掛けや席順等を工夫し、家族と相談しながら出来るだけ早く馴染めるように支援している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>希望や能力に応じて、家事や畑仕事等の生活活動を共同で行っている。職員は、入居者から生活の知恵や知識を学びながら、共に支え合う関係を築いている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時に、本人・家族から生活状況や意向等を確認している。また、日々の生活の中で本人の意向の把握に努め、職員会議や申し送り等で周知を図り、本人の意向に沿った生活を送れるよう支援している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画においては、職員の意見や情報と、本人・家族の意向等を踏まえた上で、計画作成担当者が作成している。作成後は職員全員への周知を図っている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>6ヶ月に1回、計画の見直しを行っている。また、生活状況に変化があった場合や必要であると判断された場合は、その都度見直しを行っている。見直しの際は、職員全員が記入しているケース記録と会議での検討結果をまとめて、計画作成担当者が作成している。作成後は職員全員への周知を図っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設のデイサービスと連携し、レクリエーションや合同行事等で生活の活性化を図ると共に、機会浴槽の利用等、入居者の希望や身体状況に応じた支援が行われている。また、出張理美容や出張マッサージ等、利用者の希望に応じた支援も行なわれている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院以外にも、希望のかかりつけ医への受診が可能となっている。また、毎月協力病院の往診が実施されている。日常においては、デイサービスの看護師と協力し適切な健康管理に努めている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期においては、協力病院との連携体制が整っている。重度化した場合は、家族と相談し意向を把握すると共に、医師との連携を図り、施設として出来る最大限の支援を行っている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の書類等は事務所内に保管し、個人情報の保護に努めている。入居者への言葉遣いに気を配り、同姓介護を心がけ、プライバシーを損ねないよう配慮している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の日課や取り決めはなく、個人のペースを大切にして、本人の希望に沿った生活を支援している。また、希望を言い出せない入居者に対しては、言葉掛けの工夫や日々の観察の中から汲み取るように努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	希望や能力に応じて、食事の準備や片付け、食材の買い物等を共同で行っている。献立は法人内の栄養士が作成しているが、入居者の希望の物や旬の食材に変更している。また、定期的な外食会を実施し食の楽しみを広げている。		食事中の人員配置の工夫や見守り体制の見直しを行い、より楽しく、安全な食事の環境作りをして頂く事を望みます。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴には鉱泉を使用しており、体が温まると喜ばれている。入浴は毎日実施され、本人の希望に応じて回数や時間等柔軟に対応していると共に、併設のデイサービスの機械浴も利用し、心身の状況に応じた入浴支援を行っている。入浴拒否については、声掛け等に工夫し対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の能力や希望に応じて、家事や畑仕事等の生活活動を共同で行っている。併設のデイサービスのレクリエーションへの参加やボランティアの来訪で外部との交流を図ると共に、施設行事や誕生日会等を実施し、楽しみや気晴らしの支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の希望に応じて、散歩や買い物等の外出支援を行っている。また、定期的な外出会や外食会、ドライブや地域行事への参加等、入居者の戸外での楽しみを支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関の施錠を行っておらず、入居者の自由な生活を支援している。入居者が外に出た場合は、声掛けに工夫して柔軟に対応している。居室に鍵は設置されていないが、職員は入居者のプライバシーに配慮している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力のもと、年2回の避難訓練を実施していると共に、入居者も参加して消火訓練が行われている。また、運営推進会議等で近隣に対して緊急時の協力を呼びかけている。法人にて災害時の備蓄を行っており、緊急時・災害時の対策を講じている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>入居者の嗜好や能力に合わせた、適切な食事の提供がなされていると共に、摂取量の記録を行っている。摂取量が少ない場合は、間食や高カロリー食等で補い、必要な栄養の摂取に努めている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>施設内は全面バリアフリーとなっており、玄関・廊下・トイレ等ゆったりとしたスペースが確保されている。高い天井と天窓からの採光で、施設内は明るく開放的な造りである。共有スペースには行事の写真や入居者の作品が掲示され、楽しい雰囲気作りがなされていると共に、和室スペースには、こたつが設置されて入居者がくつろげるように配慮されている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者の希望により、馴染みの物を自由に持ち込む事が可能となっており、入居者が居心地よく安心して暮らせるように配慮されている。洋室と和室があり、入居者の希望により選択できるようになっている。全居室にエアコンと換気扇が設置され、職員によって適切な空調管理が行われている。</p>		